

♪ 2024年度 **poco a poco** ♪

Nr. 4 2024年5月23日(木)

文責:プファイル・辰巳

母の日、父の日

5月の第2日曜日は「母の日」でした。みなさんはどんな風に過ごされたのでしょうか。この「母の日」の慣習が始まったのはアメリカ合衆国だそうですが、日本でもドイツでも、同じ日が「母の日」として定着しています。では、「父の日」はどうかというと、こちらは日本とドイツでは、日にちも意味合いも少し違うようです。



日本では父の日は6月の第3日曜日で、母の日と同じように「お父さんに感謝する日」ですね。この慣習もアメリカ合衆国が発祥地だそうで、ヨーロッパでもフランスやオランダでは、同じ日に定着しているそうです。

では、ドイツの父の日 (Vatertag) はいつなのかというと、キリスト昇天祭の日ということになっているので、復活祭などと同様に毎年日にちが変わります。今年は5月9日でした。ドイツの Vatertag によく見かける光景は、町の広場や居酒屋などで、お昼ごろからビールを酌み交わす男性グループの姿です。中には Bollerwagen (台車のようなもの) にビールケースを載せて、ごろごろ引っ張っている姿もあります。ドイツ人男性は、その日は大手を振って、男同士で飲んでもよい日になっているそうです。バレンタインデーのチョコレート商法同様、ビール会社の商戦だという話もあります。

所変われば……。というわけでドイツの父の日は終わってしまいましたが、日本の父の日はまだこれから。お父さんやおじい様に感謝を表す日にしましょうね。

音楽こぼれ話 < The Sound of Silence ① >

古い話ですが、これは1960年代に活躍したサイモン&ガーファンクルというデュオが歌っていた曲の題名です。でも、今日のお話はその曲のことでなく、文字通り『静

寂という名の音』あるいは『静寂から生まれる音楽』について考えてみたいのです。

音楽が始まる瞬間というのは、最初の音が聞こえた時なのでしょう。私はそうではないと思っています。オーケストラの演奏ならば、指揮者がタクトを振り上げ、舞台上も会場もシーンと静まり返るあの瞬間。ピアノやその他のソロ楽器の演奏でも、演奏者は音楽を弾き始める前に、どんな楽器を演奏するにしても呼吸を整え、静寂を待ちます。その緊張感に満ちた静寂の中から音楽が始まっていると私は思います。



音楽の授業中に、ピアノの前奏が始まっているのに、平気でおしゃべりを続ける子どもたちがたくさんいます。ワイワイガヤガヤ…の雰囲気の中から、楽しい音楽が流れ始める。それも悪くはないでしょう。でも、何か音楽が流れ始めたら、スーッとおしゃべりが止まって、みんなの気持ちが「さあ歌うぞ。」と一つになれば、もっとステキだと思います。前回の「音楽に耳を傾ける」ことにも大いに関係しています。

さらに、鍵盤ハーモニカでもリコーダーでも、自分が楽器の演奏を始める前に、いきなりプーとかピーと、とりあえず何か不用意に音を出してしまうのではなく、一呼吸おいてみましょう。自分がこれから出そうとしている楽器の音を、頭や心の中に思い浮かべてから、演奏を始められるようになれば、立派なものです。

現代生活の中には、音や音楽があふれています。テレビを見ている、ゲームをしている、絶えずBGMや効果音が流れています。その音の洪水をたまにはせき止めて、静寂を楽しんでみましょう。静寂の後に流れてくる音楽は、その美しさや楽しさをさらに深めてくれるでしょう。

ほんのちょっとだけ 演奏会情報

アルテオーパー 今年の冬のミュージカルは「エリザベス」&「グリース」

「エリザベス」上演期間：2024年12月18日～2025年1月5日

「グリース」上演期間：2025年1月7日～11日

ウェブサイト www.alteoper.de

子ども用プログラム「長靴をはいた猫」

上演期間：2024年12月16日～20日